

議 事 録

会議の名称	令和5年度第1回フラワータウン再生アクションプラン推進委員会
開催の日時	令和5年8月9日(水) 14時00分から
開催の場所	フローラ88 3階 フローラホール
出席した委員、アドバイザーの氏名	山添委員長、杉崎副委員長、赤澤アドバイザー、角野アドバイザー、水野アドバイザー、笹倉委員、山下委員、岡田委員、福井委員、出合委員(代理出席:富士小校区まちづくり推進協議会 岩橋副会長)、宮井委員、前田委員、西村委員、高田委員、福本委員、青江委員、金澤委員、一橋委員、印藤委員
欠席した委員の氏名	-
出席した庶務職員の職及び氏名	作倉都市政策室長、都市政策課:徳田課長、門内担当課長、四ノ宮主幹、岡
傍聴者の人数	なし
議題	・報告事項:フラワータウン再生に向けて~これまでの取り組み報告と今後の方向性~
公開・非公開	公開
使用した資料	・次第 ・資料:フラワータウン再生に向けて~これまでの取り組み報告と今後の方向性~
連絡先	まちの再生部 都市政策室 都市政策課 電話(079)559-5127 内線2821・2822

1 開会

<門内担当課長の司会により開会>

2 配布資料の確認

3 委嘱状交付

4 委員紹介

5 市職員紹介

6 委員長挨拶

7 副委員長の確認

8 会議の公開・非公開

9 議事録作成の取り扱い

10 議事録署名人選出

11 傍聴人の入室

12 報告事項:フラワータウン再生に向けて~これまでの取り組み報告と今後の方向性~

13 その他

14 閉会

<事務局から資料に基づき説明>

委員長

ただ今の事務局から報告がありました説明に対して、ご意見、ご質問等がある方は、名前を名乗ってから発言をお願いします。

アドバイザー

これまでの活動についてご報告いただきましたが、それぞれの部会、幹事会で、活発に活動されておられて非常に素晴らしいと思います。ただ、幹事会の役割について、もう少し考えていく必要があります。先ほど、幹事会は4つの部会の情報交換や一つの部会で解決できないことを調整・連携していくことを担うというようなご説明がありましたが、それに加えて、全体としてこのフラワータウン再生の取り組みをどのようにしていくかといったことを検討する役割といったものが必要ではないかと考えます。例えば、このフラワータウン再生の取り組みは広く市民、特にフラワータウンの住民を巻き込んで行くようなプロセスが大切かと思いますが、今取り組んでいる一つ一つの素晴らしい取り組みをどういうふうに全体として発信していくか、といったことを考えるところが必要になのではないかと考えています。

事務局

今、ご意見の中にありました、全体的な取り組みをどう発信していくかというところでございますが、先ほどの説明でもありました通り、幹事部会を1回開催しております。その中でも、我々が今やっている取り組みをいかに住民の皆様にご覧いただくかという課題提示もございました。私は、センター地区活性化部会に所属しておりますが、その中の1つの取り組みとして、11月3日のイベントの準備を進めているところでありますが、このイベントも全住民が知っているのかということと考えますと、なかなかそこまでできていないのではと思っております。今後それをどうしていくかということが、今後、部会の中で話をしていくこととなります。話が飛びますが、令和4年に公表しております再生ビジョンの中でも、フラワータウンの魅力、ライフスタイルを内外に情報発信するという取り組みがございます。そういう機能を持たず部会が今のところないのが現状ですので、アドバイザーがおっしゃる通り、情報が集まる幹事部会にそういう機能を持たしていくということを今後考えながら、幹事部会を運営できればと考えております。

アドバイザー

是非お願いします。一般の市民の方がこの取り組みを見たときに、4つの部会それぞれがおこなっていることが、実は1つの大きな流れの中にあるということがわかりづらいのではないかと感じました。それぞれの取り組みは異なるものの、フラワータウン再生という目標に向かっていということが伝わるといいと思いました。

アドバイザー

先ほどのアドバイザーの意見に重ねまして、どういうふうにこう出していくかということなんですけども、

やはりあの、実はというか、あの、最後の方ですねちょっと気になった言葉があって、これから、いろんなことが関連してくると思われそうです。みたいなことを説明されてますけども、最初から関連付けておかないとダメだという、それぞれのスタッフが縦割りで、それぞれの目的が別にあって実は関係してるっていうふうなことではなくて、何か1つでもいいので、わかりやすいプロジェクトを中心にしながら関連付けをしていくとかいう見せ方もいいかなっていう気がしました。多分1番わかりやすいのは、センター地区のプラン、具体的なプランっていうもので、少しだけ説明がありましたけども、空いてる土地がありまして、そこを少し開発していこうっていうふうなことも始まりつつあれば、あそこをもうちょっと説明された方がいいと思うんですけども、そういうことで、大きく変わっていくところは、できれば絵も何回も変わってもいいと思うんですけども、絵も示しながら、その周りでは、いろんな活動が、フラワータウン内でここがこう変わっていく、この団地はこう変わっていく、ここの構図がちょっと変わってくる、このコミュニティではこんなことを始めてるといようなことが、少し関連付けながら事業を落としていくってなってくると、皆さんわかりやすいかなと。やはり、あの、普通の、一般的にまち全体のことを理解するのはなかなか難しいので、1番変わっていきそうなところを見せながら関連づけようというふうなことですといいんじゃないかな気がしました。よろしければ、リザーブ用地の状況、三者協定を結んで具体的に進めようとしていることなども、説明ができる範囲で結構ですので、説明いただければいいかなと思いました。

事務局

フラワータウンの再生について、私たちは令和2年度から具体的に動いてきているわけですが、なかなか目に見える形の取り組み、特にハード整備をする種地がなかったのが現状でございます。令和の5年になりまして、今、アドバイザーからご発言あった、センター地区内の元々西松屋さんがあったところの敷地が更地になりました。今後、その土地については、センター地区の真ん中で、駅前という土地柄でもございますので、フラワータウン再生に資する土地活用をしていきたいと考えています。令和4年度の末、令和5年3月末に土地所有者であります兵庫県企業庁さん、実際の土地活用を実施していただくコムスさん、それと基礎自治体である三田市の三者で、活性化に資する土地活用をしていきたいと思いますという、覚書きを交わしているところでございます。

現在、皆さん目にしておられるとは思いますが、建物がなくなりまして、更地状態になっております。今後、フラワータウン再生に向けて、あの土地で例えば社会実験を実施し、必要な機能を見極めていくということも想定しているところでございます。

アドバイザー

各部会の今年度の取り組みについてそれぞれご紹介いただいたんですけども、今の段階では、今年度になってからいついつこんな議論をしましたというところにとどまっているという印象です。各部会が今年度のいつ頃何をするのかというところについての情報共有が必要ではないかと思えます。各部会で今年度の内容を検討しておられると思いますが、それをどういう方法で、どの段階で共有されるのか、あるいは市民に向

けて発表されるのかというあたりが知りたいですね。例えば、秋にイベントをするのだったら、そのスケジュールや具体的な内容を、できるだけ早めに共有できれば良いのではないのでしょうか。モビリティの社会実験であれば、時期や場所、方法などについて教えていただきたいのですが、まだ検討中ということなのであれば、それはいつどういう形で決められて公表されるのかを、分かる範囲内で教えてもらえるといいなと思いました。

事務局

まず1点目、センター地区での秋のイベントについてです。このイベントにつきましては、センター地区活性化部会内に実行委員会を組織立てておりまして、今年度になり4回、協議の場を設けております。説明の中でも少し触れましたけれども、11月3日、金曜日、祝日に、去年と同様、あるいはそれ以上の規模でイベントを開催しようと考えております。イベントの公表につきましては、11月3日の開催にあたり、三田市のホームページの方で、イベントの参加者、参画者の募集をしております。7月末で募集は終了しましたが、ステージに出ていただく人であるとか、あるいはキッチンカーで出店していただく事業者であるとか、そういう方々を募集したというところでございます。

住民への周知につきましては、市広報誌に案内を載せる予定をしております、現在その文章案を検討しているところです。それと、専用のパンフレットを作成中でございまして、10月中にはフラワータウン全戸に配布しようと考えております。内容につきましては、先ほど申しましたイベント実行委員会で検討しているところでございますが、去年と違うところにつきましては、イベント会場の中央を通っています車道を通行止めにしまして、イベント会場として使ってみようという準備を進めているところでございます。

事務局

新モビリティ適正化部会ということで、先ほど令和5年度の取り組み紹介をさせていただいたんですが、今年度、武庫が丘地区でグリーンスローモビリティの実証実験を昨年度に引き続き実施をすることとしております。こちらにつきましては、8月16日から運行を開始するというので、既に車両はフラワータウンに入っており、地域の皆様と共にルート場での運行練習や安全確認なんかを行っているところでございます。

また、周知等についてでございますけれども、三田市の広報誌とホームページを使いましてむこぐるぐるという愛称でグリーンスローモビリティが走りますという広報をいたします。そして、武庫が丘全戸につきましては、むこぐるぐるがやってくるというチラシを配布し、皆様に周知をさせていただいたところでございます。その他、公共交通の利用促進、理解醸成、新モビリティに触れる機会の創出につきましては、11月3日のイベントの際にモビリティブースという形でイベントの広報と合わせて周知を図っていくという予定をしているところでございます。

アドバイザー

それぞれのところでは具体的に検討されていると思いますが、それらの計画を重ね合わせた時に、今年度

のどの頃にどのようにイベントの波が来るのかということをご共有しておきたいですね。もう既に活動は始まっているのかもしれませんが、それぞれの活動が、フラワータウンの再生に対する機運をどのように高めていけるのか、というあたりの共通理解も必要ではないかと思います。これは広報戦略とも関わってきますよね。個別の計画がどう組み合わせられて全体のうねりを作っていくのか、そのことをちょっと意識していただいた方がいいんじゃないでしょうか。おそらく夏から秋にかけていろんなことが行われるのだらうと思いますが、1年を通じての期待感や高揚感をどう育てていくかという戦略も今のうちから少し考えておかれてはいかがでしょうか。空き地の活用の話にしても、おそらく今すぐに長期的な計画を立てられる話ではないでしょうから、例えば、暫定的にこんなことからやっというと思う、そしてそれがうまくいけば次のステップはこうしたいというように段階的に考えることも必要かと思います。また、個々のイベントをいかにこなすかということだけでなく、それらの活動の積み重ねがフラワータウン再生の機運をどう高め、どのような事業につなげるべきなのかを常に考えておくことが大事だと思います。

委員

先程の話をお聞きしましたが、今年度の活性化の委員会が、8月になって初めてというのも、タイミング的にかがななものかなと思います。幹事会を8月2日に開催していますが、その時の議題、議事録とかが、今回の委員会にも出ていません。こうした情報を元に、一体何をどういう方向に持って行くのか、ここで決まらなければ、また12月頃にまで先送りになってしまいます。これでは、この委員会の会議の成果はなかなか出てこないと思います。幹事会あるいは各部会をやるのであれば、この全体委員会に焦点を合わせて、報告ができるような形に、スケジュールを見直した方が良くと思います。やはり、情報公開はタイムリーにやっていただきたいと思います。

事務局

幹事部会につきましては、8月2日に開催したところでございます。委員のおっしゃる通り、本来であれば、本日のような全体の会で、内容についてご報告できれば良かったのですが、1週間前のことであり、まだまとめきれてないというところがございます、大変申し訳ございません。

こういう場で皆さんと情報を共有していくことは大変重要だと考えています。ただ、これだけ多人数の皆様スケジュールを調整することがなかなか難しいところがございます、本委員会も本日もなったという経緯がございます。

幹事部会の内容につきましては、取りまとめを現在している最中でございますので、とままり次第、皆様に情報共有させていただこうと思っておりますので、今しばらくお時間いただきたいと考えております。

委員

確かに幹事部会とこの会とのあり方を考えたい。例えば私達のまちづくり自分事というのは今、アドバイザーの方がおっしゃったように、常に色々進んでおります。ただ、会議というよりも実作業ですので、誰々

がどの辺の草刈りをしようかというような事を試行中です。最終目的は、深田公園の芝広場を人博さんや市と4地区のボランティアが協働してやることを目標に、とりあえず1000㎡から3000㎡程度の弥生地区の緑地管理ができないかと考えています。それを常に会議に諮るまでもないと思います。また、住民全部に声かけもないでしょう。

一方、ボランティア集団を集めようとして画策していますが、会議での発表は非常に難しい。

また、4部会が同ベクトルとはいうものの、会議に参加したところで、実働が伴わないように思います。そのうち1年が過ぎてしまうでしょう。それよりも1つでも草刈りの実績づくりをした方が早いと思い、僕たちは既に実行しかけていますので、それにはご期待していただければと思います。また、それぞれ各部会には担当市職員がおられますので、すり合わせは別な方法でやれるのではないかと思います。皆が今こんなことやっていますという報告があればいかがでしょうか。また、我々もアドバイスをもらいたいときや相談したいことも出てくると思います。この会議がありながら、その辺は、4つが1つにまとまってというご意見はよくわかるんですけど、なかなか難しいと感じております。だから、市がコントロールタワーになって、全員集まって知恵を借りたいというようなことがあった時、この会に意味あるんじゃないかなと思っております。その辺、まちづくり自分事というのは、仲間内同士で、ああしようや、こうしよう意見交換しながらどんどん進行できるというような性質であることをご理解いただきたい。

事務局

まちづくり自分事部会につきましては、地元住民の方々の活動、個々の活動が、重要になってくると考えています。その個々の活動1つ1つを捉まえて、情報共有するというのは大切なんですけれども、報告をして云々というのは、なかなか難しいなと思います。ただ、先ほどの話にありました、センター地区での取り組み、あるいは、新モビリティをどうしていくかとか、フラワータウンのまち全体に関わるようなことについては、やはり状況の報告等が必要と考えています。本日のような委員会、あるいは幹事部会がありますので、状況の報告、情報共有をしていきたいと考えております。

委員

地域住民への情報伝達ということですが、フラワータウンアクションプランで色々な素晴らしい資料を作成されていますが、これを我々まち協の役員会や各団体が集まる委員会で説明しようとかねがね思っていますが、どこからスタートしたらいいのか、迷っています。この膨大な資料をこの役員会や委員会のメンバーがまず理解しないと、地域住民への説明も出来ないと思います。市からの広報だけでは、住民への理解を得るのは難しく、やはり各地域の住民説明会とかを何回も何回もやっていただいて、やっとわかるようなレベルの高い課題ですね。そうこうしている間に、地域の中では、自治会の運営自身が大きな岐路に立っています。役員のなり手がなくなるとか、もうとにかく活性化の逆方向に行くことが多くて、自治会が悩んでいるところが結構あります。組織をもっと簡素化するとか、いろんな補助金の出所を簡素化するとかいうようなことも大きな課題だと思います。自分事部会ではそういうことも議題にも挙げています。地域の代表として住

民は地域の活性化の為何に悩んでいるのかというのをこの委員会で皆さんに訴える責任があるとは思っています。そのあたりの歯車を回さないと、この委員会での議論の成果が出て来ないかと思います。住民の悩みに対していろんな情報伝達のする場を作っていただきたいなと思います。住民がとにかくキーですね。

事務局

再生ビジョンの説明会は、昨年度、2住区で開催させていただいております。委員のおっしゃるように説明会を開催した住区内の全ての住民がそれを理解しているかということについては、まだまだ、できていないと感じております。

また、取り組みがどんどん進んでいくということもございまして、現時点でのまちの状況はどうなっているか、ということも住民の方々には知っていただく必要があると考えております。

委員がおっしゃったワードの中で、住民にとって活性化とは何だ、というものがございました。そういうところも含めて、今年度からラウンドテーブル型を取り入れております幹事部会の方で議論を進めまして、先ほどのアドバイザーのご意見にもございましたが、皆様に届くような情報発信の手法というものを同時に考えていきたいと考えております。

それと、再生ビジョンやアクションプランの説明会や取り組みの状況などの報告につきましては、我々の方で承っておりますので、ご相談いただけたらなと考えております。

委員長

もし説明などが必要であれば言っていただければと思います。

委員

そういう機運を地域の中で作るようにしたいです。

委員長

草の根でやっていかないとなかなか盛り上がっていかないとしますので、よろしく願いいたします。

委員

私はセンター地区活性化の方に所属してはいますが、その部会の方でイベントとして、11月3日に今何をしようかということで、してはいますが、元々、あのイベントは11月3日に去年もやりましたけど、あのイベントが、このフラワータウンリボン計画を割と具現化するというか、お客さん、市民の方に見ていただいたら、なんとなく分かるっていうのを、もっともっとこう、具体的に示せるようにしていくのが良いように思います。私はそういうつもりで、あのイベントをやっていたんですけど、ここに来て、ようやくその、部会の動きというのが、私もようやく分かってきたんですけど、それを是非、そのイベントの時に、具現化させていただいて、住民の方に発表できるというか、そんな状況にしていくのがいいと思っています。ご

協力よろしく申し上げます。

事務局

今、委員がおっしゃった通り、フラワータウンの活性化ということについて、目に見えるものとしては、昨年開催しましたセンター地区でのイベントが思い浮かびます。年に1回ですけれども、賑わいを創出できたものと認識しております。

去年の委員会において報告をさせていただきましたけども、去年開催しましたイベントでは、多くの方が参加されて、大いに賑わったということがございます。今年度についても、それを目指してですね、それ以上の賑わいを醸し出そうという意気込みで、現在、準備、企画をしているところでございます。我々の取り組みが目に見えるような形で皆さんに伝わるのは、活性化に向けてはかなり有意義であると考えております。イベント時に実施したアンケート調査でも、参加された方には好印象であったという結果が出ておりますので、今年度についても、当委員会の委員、また、センター地区で既に取り組みをされている方々の協力を得ながら、イベントを開催していきたいと考えています。

委員

各分会が具体的に進んでいる状況とかは、私も近くで、かつ色々参加しながら理解しているんですけども、そうすると、どうしても事務局側で見ている全体像の把握が、やっぱりちょっとおろそかになっちゃって、情報発信とかも絡むと思うんですけど、やっぱり全体は常に理解してるっていう状況を頑張って作らないといけないと思ひまして、プレーイングマネージャーでめちゃくちゃ大変だなというのは横にいるのでとても感じるんですが、やっぱり、あのラウンドテーブルのところの話題とかもですね、ちょっと抜け落ちて、例えば、住まいの環境部会で、今日ご説明していただいた動き以外にも、兵庫県の住宅政策課さんと県の住宅供給公社さんとも相談しながら、センター地区にもう少し賃貸住宅があった方がいいよねっていう、ちょっと中長期の動きの話とかを始めていたり、まちづくり自分会だと、先ほど委員がおっしゃったように、今いる人たちの、見えてる人たちの活動をぐっと盛り上げていくっていう話とは別に、新しく人材を掘り起こせないかみたいなことを都市政策課さんでされていたりっていうことで、たくさんいい活動は、実は今日の載り切っていないものも実はあったりすると思うので、少し大変だと思うんですけども、この会とか幹事部会のところではやっぱりそれが総ざらいになっていて、かつ、それがどこに向かっているかっていう、中長期の視点でも見えるような整理を常にしておくっていうことがないと、今日感じみたい、毎回やっていくと、どんどん個別具体的に陥っていつちゃって、それが頓挫したら終了みたいなことになってしまうので、そうではなくて、少し俯瞰する係も、プレーイングマネージャー、本当、大変だと思うんですけど、私も含めて、一緒に人博にお手伝いできることをお手伝いさせていただきながら、できるといいのかなと思ひました。

その時には、少し、将来の姿みたいなのが分かる資料が今やっぱりちょっとないのかなっていうふう感じてまして、アクションプラン、これからまた令和8年に向けて3年分作っていくのを今年度やるっていう

ことなので、その時には、センター地区ってこういうまちだったらいいよねっていうのをもう少し、アドバイザーの話にもありましたけど絵的に分かって、みんなで喋る、で、それは決定した計画図ではなくて、こんなまちになったらいいよねってみんなが喋れるための材料としての絵、みたいなものがまず、センター地区に限らず、戸建住宅地の方にもあったらいいと思いますし、それってどういう仕組みで成り立ってるかっていうのをまた具体的に考えていくと部会活動に落ちていくと思いますので、そういう、絵を描くみたいな仕事もできるといいのかなと思いました。

あと、最後に情報発信は、これは私が他のニュータウン再生をやっている時に1番最初にやったのは、ポータルサイトを作るみたいなことで、カレンダーがあったらとりあえずいいかなと思いました。あの話聞いてると、何月何日どこで何やって、あ、富士が丘さん、あんなんやってんねんって、羨ましいなって、弥生の人が思うとか、その思うっていうのが、きっかけになると思うので、羨ましいってそれぞれの地区が、4地区切磋琢磨できるっていうのはフラワータウンのいいところだと思いますので、横目に見ながら羨ましがれるような活動を、とにかくカレンダーで羅列するところから始めたらどうかなというふうに思いました。

事務局

委員には、様々な場面でお助けをいただきまして、ありがとうございます。

また、我々の本日の説明の中で抜け落ちていた部分を補完していただいたこと、感謝いたします。

それと、幹事部会の中の話もございましたけれども、中長期的にどこに向かっていくかというところは、我々も何分、初めての試みであり、未経験の部分になります。委員、それから委員もそうですけれども、ご経験のある方から色んなご助言いただきながら、進めていきたいと考えておりますので、今後ともご協力をお願いしたいというところです。

次に、少し具体的な話になりましたけれども、アクションプラン VOL.02 を今年度中に取りまとめることとしております。再生ビジョンの計画期間の中間年となる令和8年度までの具体的な行動計画を作っていきたいと考えているわけですが、委員おっしゃるように、センター地区を始め、様々な場所での将来の図と言いますか、将来イメージの見える化を図りたいと考えています。その際も、お力添えいただけたらと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員

ご報告いただいた部会の取り組みは、基本的には、取り組めることからということで、ソフト中心の議論が割と進んでいると思うんですけども、やっぱり、ソフト中心に組み込みをしていって、こういうことをしようとなったその先に、ハードの話が出てくると思うので、そういった、今取り組んでること、その先に、どういう定常的なまちの姿を描いていくのかっていうところにも、繋がってくると思うので、どこかのタイミングでソフトの議論とハードの議論っていうのを、セットで一度議論して、できることをやりつつ、将来的にこういうハードが実現すればもっとこういうことができますねっていう議論を、たぶん、今年度1年から翌年になると思うんですけども、そういうハードに落とし込んでいくというような作業をするのが必要な

のかなというふうに思ったので、それはコメントというか、感じたことを1つお伝えしておきたいと思いません。

もう1つ委員も言われたように、絵で描くというところが私も大事だと思っていて、まちの人に、まちが将来こうなるねっていうのを分厚い冊子で細かく文字で説明しても、私は自分のまちでもあんまりそういうの、仕事じゃなかったら読まないなという。で、じゃあ、どういうことだったら見るかという、ま、ぱつと視覚的に、まちの特徴的なシーンが描かれてるような、絵があれば、なんとなく、それをパラパラと見て、イメージが湧かなと思うので、厳密に、すごく丁寧に、言葉で、全住民に説明をするということではなくて、やっぱりこう、まちづくり、今フラワータウン再生が目指している方向性っていうものをコンパクトに、視覚的に、それは感覚的でもいいので、しかし、科学的な根拠を持って感覚的に表現するということなんですけど、そういう方法は1つ必要なのかなと。

あとは、全てのまちの姿を描く必要はなくて、ポイントとなる要所を定めて、そのポイント要所を描く。それをすると、あとは、多分、まちが元気になれば、その隙間の部分は勝手にまちができていくと思うので、まさにそのポイントを定めて、ポイントの将来イメージを描くというのが、このフラワータウン再生のとても重要な作業になってくるのかなと思ったので、そういう、今、部会でいろんな具体的な活動がされてきて、去年とはまた違うフラワータウンの将来の姿っていうのは、ちょっとずつ描きつつあるので、そういう、まとめ方のイメージっていうのも、ラウンドテーブルとか、あとは、各部会で、そういうまとめ方をすること、イメージ、頭の中で共有しながら、議論を進めていくというのが、これから大事になるのかなというふう思いました。以上、コメントです。

事務局

まず1点目、ソフト中心の取り組みが先行していることについてですが、先ほど別の委員からのご意見に対して回答いたしました。なかなかハード的な取り組みを実施する場所がなかったということがございます。このため、まずはソフト中心から取り組みを進めているという現実がございます。今になって、先ほども言いました、西松屋さんの跡地がその候補地となっていること、あるいは、今後、道路や公園といった都市施設についても老朽化が進んでおりますし、利活用方法によっては、その部分を変えていくということも、いわゆるハード整備を手掛けていくことになると考えられます。いつぞやの時点では、現在のソフト的な取り組みがハード整備に繋がっていくものと想像しているところでございます。

それと、2点目。将来のまちの姿について、視覚的に訴えることが重要だというご意見いただきました。私もそのように考えております。ただ、これまでの経験上、行政的な取りまとめ方法に慣れており、どうしても文字面で表現をしてしまうというきらいがございます。先ほども申し上げましたけども、アクションプランVOL.02を策定する時には、視覚に訴える将来のまちの姿の絵などの作成についてお力添えいただきたいと思っております。また、委員おっしゃったように、ポイントだけ押さえて、例えば4つの部会があるのだから、そのテーマに沿った将来像を描き、テーマ間の隙間については、後からついてくるだろうと想像しながら作成していきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしく願いいたします。

委員

私が担当している業務に関連いたしまして、まちづくりの自分事化についてですけれども、これにつきましては、先ほど、委員からご指摘がありました。住民として今何をなすべきか、という視点と、それから委員がご指摘になられましたように、将来的にどういうまちにしていくのかという両側面があると思いますけれど、これは言うまでもなく、短期的な視点と中長期的な視点ということで繋がっていると思います。いずれにいたしましても、現在の住民の皆さんが、住みたい、住み続けたい、将来の住民の皆さんが住んでみたいと思うようなまちを作っていくことが、再生の目標だというふうに思います。

ついでには、私ども市の方でも、これまでまちづくり協議会さんに対して、地域計画の策定をおすすめしてまいったような経緯がございますけれども、これはアドバイザーの先生方からご指摘がございました。再生計画の全体像の把握でありますとか、あるいは部分的パーツ、パーツで進んでいる事柄を住民の皆さんにどういうふうに周知をしていくのかというふうな事柄を、この地域計画の策定という取り組みの中で、この再生の取り組みを連携させることで、達成できるんじゃないのかなと思います。今後、私どもコミュニティ担当の方でも地域計画づくりをご支援させていただく中で、この再生アクションプランというものを住民の皆さんに、まさに自分事として、把握していただけるような形での、仕掛け作りというものを、連携して進めていけたらなというふうに思っております。地域代表の皆様方におかれましても、こういう視点につきまして、また、それぞれの地域特性もあろうかと思しますので、自分のところでは、こういう風に、やっていきたいとかいうふうなことを遠慮なく、私の方にお申し付けいただければ、ご相談いただければというふうに思います。これは、私から感想と、それからお願いでございます。

アドバイザー

大変お忙しいことを承知しながら、あえて新しい提案と言いますか、追加のことを申し上げますと、私、専門は公園緑地でやっています、最近はやっぱり、まちづくりの中で、公園とか何もないところの気持ち良さっていうのが、子育て世代は特にあの中心で、選ぶ理由とか愛される理由になってきているというのがあります。

具体的に言うと、フラワータウンで言うと真ん中の深田公園っていうのがずっと、これまでのアンケートとかですね、去年のイベントの自由意見とかですね、それで、委員とかがなんとかしようと思っても行動も起こされているという中で、私どもも、ちょっと恥ずかしいんですけども、隣接して管理も一部担っている中で、ずっと何もできてないという情報が伝わって、そういう公園緑地も、ちなみに、街区公園も、昔々、児童公園と、呼ばれた時代があって、全てに三種の神器を得て、子どもたちだけのために同じものを作ってきたわけですけども、それをいろんな方々が使いやすいように、ここはこんな公園、あんな公園と変えていくっていうような、まちのバリエーションとかを作っていくためっていうふうなことが、国策としても強く言われてることがあったりとかして、それが今三田の市の政策とどこまで合うかどうかかわからないんですけども、具体的に深田公園なんかは出てきてるわけですから、そういった担当の方とかも入ったりして、

自分事部会から出てくるんでしょうかね、それともセンター地区の部会の方で、深田公園も含めてリザーブ地を考えると、あの上から下まで一体的に考えるということをやっと、強め推し進めてもいいのかなと思っております。これはできるできないとかそれはここでは必要ありませんので、今後検討できればと思いました。

事務局

アドバイザーのおっしゃった通り、深田公園につきましては、フラワータウンにとって魅力的な資源であることから、事務局としては是非とも使っていきたくと考えております。

そこでどういう取り組みを展開していくかについては、センター地区にあるからセンター地区活性化部会なのか、あるいは、取り組む内容によってはまちづくり自分事部会の中で動いていくのか、そういうご意見がありました。こういうことは、まさに幹事部会の中で議論される、あるいは意見交換される内容であって、例えば、センター地区活性化の方ではこの部分の役割を担って、自分事部会の方では別の役割を担当する、といったことを、幹事部会の中で協議をしていきたくと考えております。

委員長

他に意見がないようですし、時間も経過してございますので、これで報告事項は終了をさせていただきます。次第の通り本日の報告書はこれで終了いたしますけれども、その他ということで、事務局の方からございますでしょうか。

事務局

事務局の方から連絡事項を申し上げます。連絡事項は2つございます。

まず、1つ目でございますが、次回の委員会の開催予定でございます。現在におきまして、今年度のテーマ別の取り組みを進めておりまして、その実施後、まちへの効果、分析、検証することとしております。

その後、報告事項の意見交換の中でもございましたけれども、今年度策定予定のアクションプラン VOL. 02 の案を作成していくと、そして、当委員会でご協議いただきたいというふうに考えております。そのために、その作成期間を少しいただくことになります。

次回の委員会につきましては、年明け1月頃を予定しております。日程が決まり次第、案内状を郵送させていただきますので、ご参集のほど、よろしく願いいたします

2つ目でございますが、お車でお越しの方で、まだ駐車券の処理がお済みでない方がいらっしゃいましたら事務局までお声がけください。

事務局からの連絡事項は以上です。

委員長

それではこれもちまして、委員会を終了させていただきます。

以上